

修得目標 看護学科

学科の修得目標		全学の修得目標	4要素
レベル 1	レベル 2		
A 人間を総合的に理解し、基礎的な看護が実践できる。	1 看護の対象となる人々との援助的人間関係の形成に取り組み、コミュニケーションを図ることができる	口頭・書面によるコミュニケーション・プレゼンテーションの能力を有する	汎用的技能
	2 看護の対象となる人々との援助的人間関係について説明できる	他者に方向性を示し、目標の実現のために動員できる	態度・志向性
	3 健康状態やライフステージの異なる対象者の健康問題を科学的根拠に基づいてアセスメントできる	多様な情報を収集・分析して適正に判断し、効果的に活用できる	汎用的技能
	4 対象者の自立・自律を目指した看護実践を計画し、科学的根拠に基づいた看護を実践できる	獲得した資質・能力を総合的に活用し、自らが立てた課題にそれらを適用することで解決することができる	統合的な学習経験と創造的思考力
	5 対象者の個別性を踏まえ、看護技術を実施できる	問題を発見し、解決に必要な情報を収集・分析・整理することで解決できる	汎用的技能
	6 人間を身体的・心理的・社会的側面から総合的に捉え、述べることができる		知識・理解
	7 看護専門職として我が国における保健・医療・福祉のサービス提供にかかる課題について述べるができる		汎用的技能
	8 さまざまな世代の人々が安全に日常生活を営むために必要な制度、社会の仕組みについて説明できる		知識・理解
	9 基本的な学びのスキルをもちいて学習活動からつかみ得たことを自分の言葉で表現できる	常に情報を収集し、それらを基に自分なりの考えを発信できる	汎用的技能
	10 人間に関わる諸現象を理解する関連学問について説明することができる	人文科学、社会科学、自然科学について幅広い関心と知識を有する	知識・理解
	11 人間に関わる諸現象を理解する関連学問と看護の関連性について説明することができる		知識・理解
B 保健・医療・福祉等に関わる人々と協働することができる。	12 保健・医療・福祉に関わる関連職種の仕事や特徴について説明でき、それらの職種と看護職との連携の在り方について述べるができる	協働作業によって新たなものを構築することができる	態度・志向性
	13 対象者への援助について、関連職種に対して積極的に自らの考えを述べるができる		態度・志向性
C 看護の専門性と、看護職者の責任および役割を認識し、倫理的な実践ができる。	14 他者の尊厳と権利を擁護する看護援助技術について、指導者の助言を得ながら実践することができる	実社会の出来事について自ら学び、吸収することができる	汎用的技能
	15 あらゆる健康状態、あらゆる年齢層の人々への援助を通して、科学的根拠に基づいた看護援助を創造し実践できる		汎用的技能
	16 人々の生命や健康への脅威、生活の破綻に対して、グローバルな視点から考え、問題解決の具体策を述べるができる	多文化・異文化に関する知識をもって物事を判断することができる	知識・理解
	17 国や文化を越えて生じている人々の生命や健康への脅威、生活の破綻、社会、経済、教育、文化などに起因する健康問題について、看護の視点で捉え、説明できる		知識・理解
D 看護職者として人と関わる中で、自己と他者への気づきを深め、自ら学びを継続的に発展させることができる。	18 自ら培った知力と感性を活かし、看護援助について自律・自立した学修ができる	自律・自立して学修できる	態度・志向性
	19 社会で発生している倫理的諸問題について、倫理的・道徳的立場から自らの責任のもと意見を述べるができる	修得した知識・技術で自分の力として行動し、その結果に責任を持つ	態度・志向性
	20 生命や健康への脅威、生活の破綻に脅かされている人々への看護援助に参加する機会を見つけ、自ら参加し報告できる		汎用的技能
	21 異文化の背景を持つ人々と交流し、看護の対象者の多様性について説明できる	海外との交流を積極的に行う姿勢を有する	態度・志向性
	22 看護に関する課題に対して、文献等を活用し研究的に取り組むことができる		汎用的技能
	23 自らが目指したい役割モデルを確立させ、専門職として生涯どのように活動していきたいか、目標とビジョンを持つことができる		統合的な学習経験と創造的思考力
	24 自らが関心のある看護の問題解決に必要なテーマを選び、研究的手法を用いた成果物を作成することができる	自分の得意分野を見つけ、個性として昇華させることができる	態度・志向性

科目区分	科目名	必修・ 選択等 区分	配当 年次	【看護学科2019年度～2021年度入学生】ディプロマポリシー			
				1 人を総合的に理解し、基礎的な看護 が実践できる。	2 保健・医療・福祉等に関わる人々と 協働することができる。	3 人権を擁護する看護の責任と役割お よび自律性を認識し、看護職者として 信頼される言動をとることができる。	4 専門職業人として自己をみつめ、自主 的かつ持続的な学習を継続する姿勢 を有している。
基礎分野	医療倫理学	必修	2年	○	○	○	○
	文章表現法	必修	1年	○			
	医療コミュニケーション論	必修	1年	○	○		
	心理学	選択	1年	○	○		
	経済のしくみ	選択	1年	○			
	郷土の歴史と文化と生活	必修	1年	○			
	シエンター論	選択	2年	○			
	日本国憲法	選択	1年	○		○	
	情報処理演習Ⅰ	必修	1年	○		○	
	情報処理演習Ⅱ	必修	1年	○		○	
	環境科学	選択	1年	○			
	基礎化学	選択	1年	○			
	生物学	必修	1年	○			
	保健統計学	選択	1年	○			○
	スポーツⅠ	選択	1年	○	○	○	
	スポーツⅡ	選択	1年	○	○	○	
	英語Ⅰ	必修	1年		○		○
	英語Ⅱ	必修	1年		○		○
	英語Ⅲ	選択	2年		○		○
	医用英語	選択	3年		○		○
韓国語と文化理解	選択	2年		○		○	
中国語と文化理解	選択	1年		○		○	
国際事情	自由	1年		○		○	
専門基礎科目	人体の構造と機能Ⅰ	必修	1年	○			
	人体の構造と機能Ⅱ	必修	1年	○			
	病原体学	必修	2年	○			
	臨床薬理学	必修	2年	○		○	
	病理学	必修	2年	○		○	
	栄養と健康	必修	2年	○			
	臨床医学論Ⅰ（成人・高齢者）	必修	2年	○		○	
	臨床医学論Ⅱ（小児・産婦人科・精神）	必修	2年	○		○	
	生化学	選択	1年	○			
	医療技術学概論	選択	3年	○	○	○	
	家族社会学	選択	2年	○			
	臨床心理学	選択	2年	○			
	社会保険と社会福祉	選択	2年	○			
	公衆衛生学	必修	2年	○	○	○	○
	健康政策論	選択	3年		○		
疫学	選択	2年	○	○	○	○	
専門科目	看護学概論	必修	1年	○	○	○	○
	看護技術Ⅰ（看護基礎技術）	必修	1年	○	○	○	○
	看護技術Ⅱ（日常生活援助技術）	必修	1年	○	○	○	○
	看護技術Ⅲ（診療補助の技術）	必修	1年	○	○	○	○
	看護技術Ⅳ（看護過程）	必修	2年	○	○	○	○
	看護技術Ⅴ（フィジカルアセスメント）	必修	2年	○		○	○
	精神看護学概論	必修	2年	○		○	○
	メンタルヘルス論	必修	1年	○		○	○
	精神看護援助論	必修	3年	○		○	○
	ウイメンズヘルス概論	必修	2年	○	○	○	○
	ウイメンズヘルス援助論	必修	3年	○		○	○
	小児看護学概論	必修	2年	○	○	○	○
	小児看護援助論	必修	3年	○	○	○	○
	成人看護学概論	必修	2年	○		○	○
	成人看護援助論Ⅰ（慢性期）	必修	2年	○		○	○
	成人看護援助論Ⅱ（急性期）	必修	3年	○		○	○
	成人看護援助論Ⅲ（総合演習）	必修	3年	○		○	○
	高齢者看護学概論	必修	2年	○		○	○
	高齢者看護援助論	必修	3年	○	○	○	○
	在宅看護概論	必修	2年	○	○	○	○
	在宅看護援助論	必修	3年	○	○	○	○
	公衆衛生看護学概論	必修	2年	○	○	○	○
	産案保健	自由	3年	○	○	○	○
	学校保健	自由	3年	○	○	○	○
	家族看護論	必修	3年	○	○	○	○
	ラッシュセミナー	必修	1年	○	○	○	○
	アバヒセミナー	必修	4年	○	○	○	○
	看護管理学	必修	4年	○	○	○	○
	看護教育論	選択	4年	○	○	○	○
	健康教育・支援論	選択	3年	○	○	○	○
	緩和ケア	必修	3年	○	○	○	○
	災害看護学	必修	4年	○	○	○	○
	国際看護	選択	4年	○	○	○	○
	チーム医療	必修	4年	○	○	○	○
	看護研究方法論Ⅰ	必修	1年	○		○	○
	看護研究方法論Ⅱ	必修	2年	○		○	○
	看護研究方法論Ⅲ	必修	4年	○		○	○
	基礎看護学実習Ⅰ	必修	1年	○	○	○	○
	基礎看護学実習Ⅱ	必修	2年	○	○	○	○
	精神看護学実習	必修	3年	○	○	○	○
	母性看護学実習	必修	3年	○	○	○	○
	小児看護学実習	必修	3年	○	○	○	○
	成人看護学実習Ⅰ	必修	3年	○	○	○	○
	成人看護学実習Ⅱ	必修	3年	○	○	○	○
	高齢者看護学実習Ⅰ	必修	1年	○	○	○	○
高齢者看護学実習Ⅱ	必修	3年	○	○	○	○	
在宅看護論実習	必修	3年	○	○	○	○	
統合実習	必修	4年	○	○	○	○	
保健師課程	公衆衛生看護活動論Ⅰ	選択	4年	○	○	○	○
	公衆衛生看護活動論Ⅱ	選択	4年	○	○	○	○
	公衆衛生看護援助方法論	選択	4年	○	○	○	○
	公衆衛生看護管理論	選択	4年	○	○	○	○
	健康危機管理論	選択	4年	○	○	○	○
	地域母子保健	選択	4年	○	○	○	○
	公衆衛生看護学実習	選択	4年	○	○	○	○
助産師課程	助産学概論	選択	4年	○	○	○	○
	基礎助産学	選択	4年	○	○	○	○
	助産診断-技術学Ⅰ（妊娠期）	選択	4年	○	○	○	○
	助産診断-技術学Ⅱ（産科手術・救急助産）	選択	4年	○	○	○	○
	助産診断-技術学Ⅲ（分娩介助法）	選択	4年	○	○	○	○
	助産診断-技術学Ⅳ（産褥期・新生児期・乳幼児期）	選択	4年	○	○	○	○
	周産期助産教育論	選択	4年	○	○	○	○
	地域母子保健	選択	4年	○	○	○	○
	助産管理	選択	4年	○	○	○	○
	助産学実習	選択	4年	○	○	○	○